



# 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月31日

上場会社名 東京エレクトロン株式会社  
 コード番号 8035 URL <http://www.tel.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹中 博司  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小俣 良二  
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 03-5561-7000

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	478,063	78.3	68,157	—	71,774	—	52,121	—
22年3月期第3四半期	268,180	△33.3	△16,098	—	△12,639	—	△16,219	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	291.13	290.64
22年3月期第3四半期	△90.62	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	767,913	562,942	71.8	3,078.22
22年3月期	696,351	523,369	73.5	2,859.37

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 551,159百万円 22年3月期 511,818百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	4.00	—	8.00	12.00
23年3月期	—	38.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	64.00	102.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	675,000	61.2	92,000	—	95,000	—	66,000	—	368.61

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】5ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	180,610,911株	22年3月期	180,610,911株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	1,559,100株	22年3月期	1,614,225株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	179,029,939株	22年3月期3Q	178,985,315株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

**【添付資料】**

## [目次]

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	5
(1) 重要な子会社の異動の概要	5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書(第3四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成22年4月～12月の9ヶ月間)の世界経済は、各地域とも景気回復基調で推移しました。欧米においては緩やかな回復を示し、中国・インドなどの新興国においては内需を中心に拡大しましたが、期後半からはその拡大の動きもやや鈍化しました。また、日本経済も緩やかな回復傾向を示したものの、円高による影響や厳しい雇用環境等の不安材料が依然残っております。

当社グループの参画しておりますエレクトロニクス産業に関しましては、期後半から一部に調整局面入りも見られますが、スマートフォン(高性能携帯電話)、タブレットPC(多機能携帯端末)等の伸長著しい民生電子機器の需要に支えられ、これらの基幹部品である半導体市場は概ね順調でした。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高4,780億6千3百万円(前年同期比78.3%増)、営業利益681億5千7百万円(前年同期は160億9千8百万円の営業損失)、経常利益717億7千4百万円(前年同期は126億3千9百万円の経常損失)、また、四半期純利益は521億2千1百万円(前年同期は162億1千9百万円の四半期純損失)となりました。

また、当第3四半期連結会計期間(平成22年10月～12月の3ヶ月間)の連結業績は、売上高1,596億6千2百万円(前年同期比39.7%増)、営業利益258億1千5百万円(前年同期比367.5%増)、経常利益266億6千7百万円(前年同期比305.7%増)、四半期純利益は186億6千7百万円(前年同期は5千8百万円の四半期純損失)となりました。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

#### ① 半導体製造装置

スマートフォンやタブレットPC等の新しいアプリケーションへの半導体用途拡大を受けて、半導体市場は急回復しました。期後半にはパソコン需要の減速により、DRAM市場がやや弱含みとなりましたが、全般的には半導体市場は概ね順調に推移し、特に前工程の設備投資は前期に比べ大幅に増加しました。このような状況のもと、当セグメントの当第3四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は、3,556億3百万円(前年同期比124.1%増)となりました。また、当第3四半期連結会計期間の外部顧客に対する売上高は、1,153億7千3百万円(前年同期比50.8%増)となりました。

#### ② FPD/PV(フラットパネルディスプレイ及び太陽電池)製造装置

FPD製造装置を取り巻く環境につきましては、大型液晶パネル市場は在庫調整局面を迎えておりますが、スマートフォン、タブレットPC市場の伸びを受けて、中小型パネル向け新規設備投資が活発化してきており、FPD製造装置の受注、売上は底堅く推移しております。また、太陽電池製造装置分野につきましては、当社が参入する薄膜シリコン型市場は未だ黎明期ではありますが、中長期的には大きな成長が期待されております。このような状況のもと、当セグメントの当第3四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は、548億5千3百万円(前年同期比15.7%増)となりました。また、当第3四半期連結会計期間の外部顧客に対する売上高は、219億9千2百万円(前年同期比31.8%増)となりました。

#### ③ 電子部品・情報通信機器

半導体及び電子デバイス分野では、半導体製品のうち、医療機器やFA機器等の産業機器関連については需要が引き続き堅調であったことから、アナログICやカスタムICの売上が伸長しました。コンピュータシステム関連分野は、製品販売が依然として低調に推移する一方で、保守サービスが堅調に推移しました。このような状況のもと、当セグメントの当第3四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は、672億9千8百万円(前年同期比8.8%増)となりました。また、当第3四半期連結会計期間の外部顧客に対する売上高は、222億2千2百万円(前年同期比5.7%増)となりました。

#### ④ その他

当セグメントの当第3四半期連結累計期間の外部顧客に対する売上高は、3億8百万円(前年同期比12.4%増)となりました。また、当第3四半期連結会計期間の外部顧客に対する売上高は、7千3百万円(前年同期比17.2%増)となりました。

※第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。このため、各セグメントの外部顧客に対する売上高の前年同期との比較については、前第3四半期連結累計期間の数値を適用後の報告セグメントの区分に組み替えて算出しております。

(ご参考) 【連結】

(単位:百万円)

	当期			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第3四半期累計
売上高	144,889	173,510	159,662	478,063
半導体製造装置	103,166	137,063	115,373	355,603
日本	18,404	28,547	16,927	63,879
米国	17,552	22,474	20,974	61,001
欧州	2,942	7,028	5,609	15,580
韓国	21,445	30,126	17,092	68,664
台湾	34,014	37,082	35,383	106,480
中国	4,649	5,195	7,960	17,805
東南アジア他	4,158	6,608	11,424	22,191
FPD/PV製造装置	20,306	12,553	21,992	54,853
電子部品・情報通信機器	21,321	23,754	22,222	67,298
その他	95	138	73	308
営業利益	18,321	24,020	25,815	68,157
経常利益	19,063	26,043	26,667	71,774
四半期純利益	14,727	18,726	18,667	52,121

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 財政状態

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ560億6千4百万円増加の6,090億4百万円となりました。主な内容は、たな卸資産の増加414億7千9百万円、有価証券に含まれる譲渡性預金の減少125億円によるものであります。

有形固定資産は、前連結会計年度末から157億8千2百万円増加し、1,079億1千万円となりました。

無形固定資産は、前連結会計年度末から11億3千2百万円減少し、44億5千3百万円となりました。

投資その他の資産は、前連結会計年度末から8億4千7百万円増加し、465億4千5百万円となりました。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末から715億6千2百万円増加の7,679億1千3百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ302億4千1百万円増加の1,494億3百万円となりました。主な内容は、短期借入金の増加59億6千5百万円、未払法人税等の増加190億4千9百万円であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ17億4千7百万円増加の555億6千7百万円となりました。

純資産は、四半期純利益521億2千1百万円を計上したことによる増加、前期の期末配当14億3千1百万円及び当期の中間配当68億4百万円の実施による減少の結果、5,629億4千2百万円となり、また自己資本比率は71.8%となりました。

## ② キャッシュ・フロー

現金及び現金同等物の当第3四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ106億9千3百万円減少し、1,132億4千6百万円となりました。なお、現金及び現金同等物に含まれていない預入期間3ヶ月超の定期預金及び譲渡性預金1,200億円を加えた残高は、2,332億4千6百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動により獲得したキャッシュ・フローにつきましては、前年同期に比べ151億2千1百万円減少の197億7千2百万円となりました。主な要因につきましては、税金等調整前四半期純利益716億7千2百万円、減価償却費124億4千2百万円がキャッシュ・フローの収入となり、売上債権の増加182億6千7百万円、たな卸資産の増加473億2千7百万円がキャッシュ・フローの支出となったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、主として有形固定資産の取得による支出246億9百万円により、前年同期の26億6千4百万円の収入に対し269億1千8百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、主に短期借入金の増加による収入59億6千5百万円、配当金の支払82億3千6百万円により、前年同期の10億2千5百万円の収入に対し21億9千4百万円の支出となりました。

また、当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、前年同期の54億7千3百万円のマイナスに対し、214億1千5百万円のマイナスとなりました。主な要因につきましては、税金等調整前四半期純利益266億2千3百万円、減価償却費46億2千2百万円がそれぞれキャッシュ・フローの収入となり、売上債権の増加197億2百万円、たな卸資産の増加159億4千9百万円、仕入債務の減少52億5千2百万円、未収消費税等の増加61億3千3百万円がキャッシュ・フローの支出となったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、主として有形固定資産の取得による支出107億9千5百万円により、前年同期の597億8千4百万円の収入に対し109億3千1百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、主に短期借入金の増加による収入44億6千3百万円、中間配当の支払68億4百万円により、前年同期の8千9百万円の収入に対し25億1千2百万円の支出となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の通期連結業績予想は、前回発表時(平成22年11月2日)の見通しを変えておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ① 簡便な会計処理

##### 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

#### ② 特有の会計処理

##### 税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,746	56,939
受取手形及び売掛金	140,739	124,462
有価証券	174,500	187,000
商品及び製品	122,624	87,201
仕掛品	44,266	37,793
原材料及び貯蔵品	13,038	13,455
その他	56,258	46,263
貸倒引当金	△1,170	△176
流動資産合計	609,004	552,939
固定資産		
有形固定資産	107,910	92,127
無形固定資産		
その他	4,453	5,586
無形固定資産合計	4,453	5,586
投資その他の資産		
その他	50,510	53,151
貸倒引当金	△3,964	△7,452
投資その他の資産合計	46,545	45,698
固定資産合計	158,909	143,412
資産合計	767,913	696,351
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,653	52,359
短期借入金	11,071	5,105
未払法人税等	23,404	4,355
その他の引当金	12,017	11,338
その他	50,256	46,003
流動負債合計	149,403	119,161
固定負債		
退職給付引当金	51,816	49,906
その他の引当金	625	621
その他	3,125	3,291
固定負債合計	55,567	53,820
負債合計	204,971	172,982

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	54,961	54,961
資本剰余金	78,042	78,034
利益剰余金	437,855	393,970
自己株式	△10,519	△10,900
株主資本合計	560,340	516,065
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,537	2,504
繰延ヘッジ損益	47	△67
為替換算調整勘定	△11,765	△6,683
評価・換算差額等合計	△9,180	△4,247
新株予約権	1,463	1,578
少数株主持分	10,319	9,973
純資産合計	562,942	523,369
負債純資産合計	767,913	696,351

## (2) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	268,180	478,063
売上原価	205,077	310,611
売上総利益	63,103	167,452
販売費及び一般管理費		
研究開発費	38,387	51,014
その他	40,814	48,280
販売費及び一般管理費合計	79,201	99,294
営業利益又は営業損失(△)	△16,098	68,157
営業外収益		
受取利息	786	496
補助金収入	1,357	2,609
その他	1,633	1,032
営業外収益合計	3,776	4,138
営業外費用		
固定資産賃貸費用	103	—
建物解体関連費用	—	226
閉鎖拠点維持管理費用	—	150
その他	214	143
営業外費用合計	317	521
経常利益又は経常損失(△)	△12,639	71,774
特別利益		
貸倒引当金戻入額	15	311
拠点統廃合関連費用戻入益	—	120
固定資産売却益	25	—
その他	—	92
特別利益合計	40	523
特別損失		
固定資産除売却損	—	460
減損損失	7,508	—
その他	2,436	165
特別損失合計	9,945	625
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△22,543	71,672
法人税等	△6,648	18,927
少数株主損益調整前四半期純利益	—	52,744
少数株主利益	324	623
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△16,219	52,121

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△22,543	71,672
減価償却費	14,927	12,442
減損損失	7,508	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,174	1,942
貸倒引当金の増減額(△は減少)	—	△2,296
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,867	△1,037
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△1,892	1,324
受取利息及び受取配当金	△827	△559
売上債権の増減額(△は増加)	9,861	△18,267
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,762	△47,327
仕入債務の増減額(△は減少)	18,541	1,533
未収消費税等の増減額(△は増加)	4,926	△3,621
前受金の増減額(△は減少)	△2,279	1,979
破産更生債権等の増減額(△は増加)	—	3,295
その他	2,358	4,868
小計	28,126	25,951
利息及び配当金の受取額	923	606
利息の支払額	△33	△29
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	5,878	△6,755
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,893	19,772
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	12,838	—
有形固定資産の取得による支出	△9,723	△24,609
無形固定資産の取得による支出	△347	—
その他	△102	△2,309
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,664	△26,918
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,630	5,965
配当金の支払額	△1,431	△8,236
その他	△173	75
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,025	△2,194
現金及び現金同等物に係る換算差額	347	△1,352
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	38,931	△10,693
現金及び現金同等物の期首残高	65,883	123,939
現金及び現金同等物の四半期末残高	104,815	113,246

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## ① 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営者が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、B. U. (ビジネスユニット)を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「半導体製造装置」、「FPD/PV(フラットパネルディスプレイ及び太陽電池)製造装置」及び「電子部品・情報通信機器」を報告セグメントとしております。

「半導体製造装置」の製品は、ウェーハ処理工程で使われるコータ/デベロッパ、プラズマエッチング装置、熱処理成膜装置、枚葉成膜装置、洗浄装置、ウェーハ検査工程で使われるウェーハプローバ及びその他半導体製造装置から構成されており、これらの開発・製造・販売・保守サービス等を行っております。

「FPD/PV製造装置」の製品は、フラットパネルディスプレイ製造用のコータ/デベロッパ、プラズマエッチング/アッシング装置及び薄膜シリコン太陽電池用のプラズマCVD装置から構成されており、これらの開発・製造・販売・保守サービス等を行っております。

「電子部品・情報通信機器」は、集積回路(IC)を中心とした半導体製品、その他電子部品、コンピュータ・ネットワーク機器、ソフトウェア等の設計・開発・仕入・販売等を行っております。

## ② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	半導体 製造装置	FPD/PV 製造装置	電子部品・ 情報通信機器				
売上高	355,603	54,853	68,004	11,555	490,016	△11,952	478,063
セグメント利益	84,721	5,765	2,031	1,548	94,067	△22,394	71,672

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社グループの製品等の輸送、機器等のリース及び保険業務等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△22,394百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社における基礎研究又は要素研究等の研究開発費△16,543百万円であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

## ③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 〔自平成21年4月1日 至平成21年12月31日〕	当第3四半期連結累計期間 〔自平成22年4月1日 至平成22年12月31日〕
	生産高	生産高
半導体製造装置	155,865	380,608
F P D / P V 製造装置	41,633	53,045
合計	197,498	433,654

(注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注実績

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 〔自平成21年4月1日 至平成21年12月31日〕		当第3四半期連結累計期間 〔自平成22年4月1日 至平成22年12月31日〕	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
半導体製造装置	237,224	152,356	412,115	228,815
F P D / P V 製造装置	17,921	70,065	49,126	51,051
電子部品・情報通信機器	66,125	13,777	69,058	15,315
その他の	274	—	308	—
合計	321,546	236,199	530,607	295,182

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

(単位：百万円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 〔自平成21年4月1日 至平成21年12月31日〕	当第3四半期連結累計期間 〔自平成22年4月1日 至平成22年12月31日〕
	販売高	販売高
半導体製造装置	158,648	355,603
F P D / P V 製造装置	47,429	54,853
電子部品・情報通信機器	61,828	67,298
その他の	274	308
合計	268,180	478,063

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

※第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。このため、前年同期との比較については、前第3四半期連結累計期間の数値を適用後の報告セグメントの区分に組み替えて算出しております。